

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2012.6

vol. 74

## メディカルサポートセンター開設

このたび、鹿児島医療センターにメディカルサポートセンターが発足することになりました。メインの目的は入院検査や治療に対する患者様の不安を軽減するために、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士などが相協力して相談に当たるといった試みです。すなわち、患者様に対する医療サービスがスムーズに進むように、各種専門家が力を合わせて患者様ならびに家族の悩みに対峙し、その解決策を検討しようという新しい試みです。窓口も「がん相談」「医療福祉相談」「入院支援」「退院支援」「御意見提案」と多彩な点がその特徴です。当院のメディカルサポートセンターが患者様と病院との、さらには病院と病院の懸け橋となりますよう、病院全体で育てていただきたいと思います。

（文責：統括診療部長 皆越 眞一）



メディカルサポートセンターとは、患者さんと御家族の不安や心配ごとに、医療チームが早期に緩和ケアすること、必要な情報提供により患者様が治療や検査に対し不安が最小限になるようにサポート（支援）する場所（相談支援窓口）です。

緩和ケアは、がん医療において重要なケアであり、各医療機関でも浸透しつつあります。しかし、緩和ケアは決してがんの患者様のみに行うケアではなく、心臓の手術を受ける患者様、糖尿病など慢性疾患を持つ患者様にも、不安や脅威を感じながら受診している方が多く、手術や治療の必要性を告知された段階から緩和ケアする必要があります。

特に、心臓の検査や手術は、医師による説明を丁寧に受けたとしても、大丈夫だろうかという不安や逃げだしたい心境から、入院当日に手術に踏みきれなく入院が延期になるケースもまれではありません。

慢性疾患においても、自己管理の負担感や不安は長期にわたるため、心のケアや医療チームの支援が必要であり、患者様が自律していくためにも緩和ケアは重要です。

患者様は、医師の説明の後にもう一度確認したいことや、今後の治療の見通し、具体的準備、治療費など不安や確認事項として思いが後で噴出するものです。

本来は、外来看護として充実すべきケアですが、外来看護師のみでは時間や場所の問題もあり、十分なケアに繋がっていません。

以上のコンセプトの基に、平成23年2月から、仮設メディカルサポートセンターを設置し、一部の診療科の患者様を対象に機能させて参りました。

この度、このシステムと機能は継続するという方針の下に、平成24年4月に、医療チームで関わるメディカルサポートセンターがやっと完成致しました。

入院患者様においては、入院予約の時点から、病棟看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・認定看護師が連携をとり、患者様のお薬の確認や症状体験を把握しつつ、入院に際し準備していただくことなど情報交換をしながら、不安や心配ごとに関わっております。

外来患者様に対しては、いつでも相談できるように分かりやすく窓口名を表示してその都度対応するようしております。

窓口は、がん相談支援・入院支援・退院支援・医療福祉相談・ご意見提案などになります。込み入った相談は、相談室4か所で認定看護師やメディカルソーシャルワーカー、臨床心理士がそれぞれ対応する体制も充実致しました。

外来のフロアを通るとき、立ち寄りやすいようにオープンスペース、プライバシーが保てるブース、相談員が見える環境で患者様をお待ちしております。

（文責：看護部長 中重 敬子）



## 平成24年度入学式を終えて

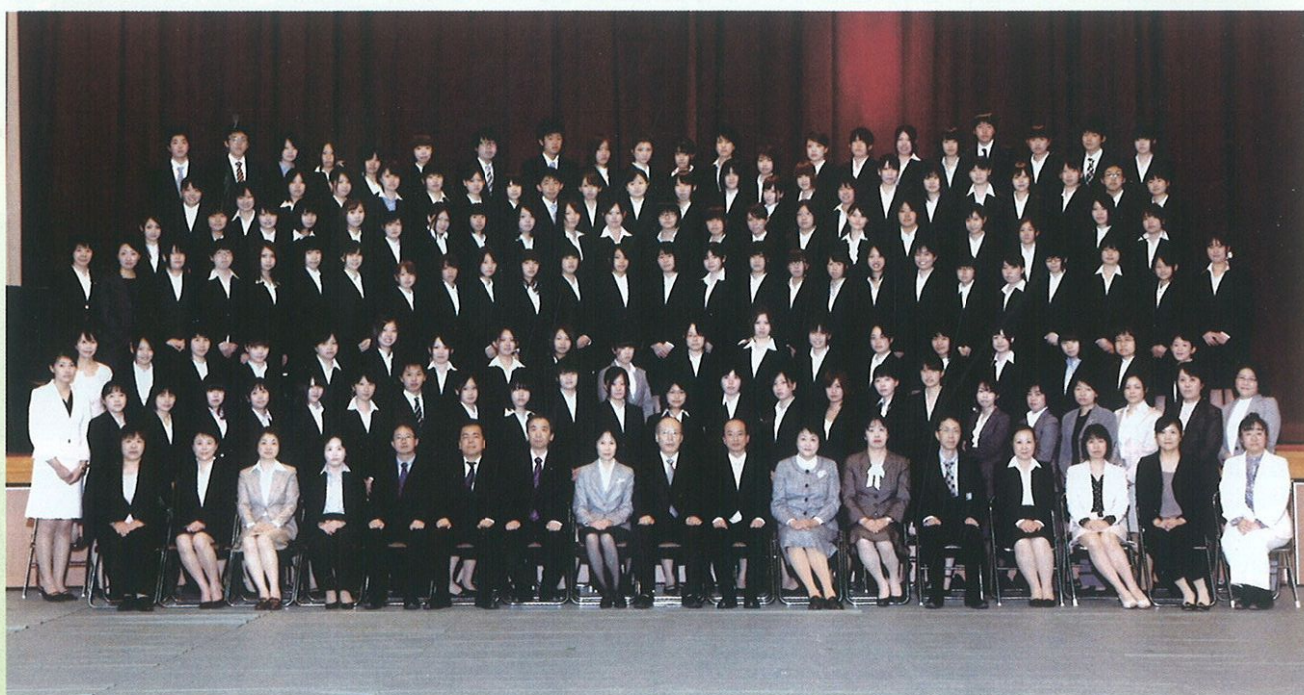
桜の花が満開の頃、私たち一年生120名は鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校に入学しました。私は、新しく始まる学校生活や友人関係に緊張や不安もありましたが、来賓や学校関係者、両親、先輩方の皆さまの温かいまなざしや励ましに支えられていることを実感しました。また、入学式で来賓の方々から、患者様の立場に立つことの大切さや看護師に期待させる専門性の大きさなど言葉を頂きました。看護の世界への希望と厳しさに身が引きしめる思いがしました。

私が看護を目指した理由は人の役に立ちたいという思いです。きっかけは、高校生の時の病院での看護体験です。入院されている高齢者の患者様と折り紙をしながらお話をさせていただきました。その患者様は車椅子で生活されており、そのことを悲しんでおられましたが「つらい話を聞いてくれるだけで嬉しい」と言われました。また、看護師の優しく患者様と関わる姿にも感動しました。そしてその時私は、人を支える仕事のすばらしさに気づき、看護師を目指したいと決意しました。

本校の基本理念は「人間愛と探究心を育み、ヒューマンケアの実践者を育成します」です。現在、人体のしくみや基礎看護技術を勉強しています。また、6月から基礎看護学実習Ⅰ(早期体験)が始まります。初めて白衣を身に付け、入院生活を送っている患者様の療養生活や思い、行われている看護を学びます。これからますます看護師としての必要な知識や技術を、この学校生活で身に付けていきます。本校の基本理念であるヒューマンケアが実践できるように、仲間とのチームワークや親しい人との交流も含め、たくさんの人との関わりを大事にし、その大切さを学んでいきたいと思いをします。

入学してからまだ日は浅く、失敗したり、道に迷ったりする時もあるかもしれませんが、しかし、そんな時は初心を思い出しながら努力を惜しまず、夢に向かって進んでいきたいと思いをします。

(文責：鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校 21回生 松下 琴美)



# 新任紹介



泌尿器科  
医

みずま こうへい  
水間 浩平

平成24年4月より泌尿器科に勤務させていただくこととなりました。当院での勤務は初めてで慣れないことも多く、他科の先生方やスタッフの皆様にご迷惑をかけることもあると思います。1日でも早く円滑な業務ができるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



泌尿器科  
医

いしはら ともあき  
石原 知明

平成24年4月より当院泌尿器科に勤務させていただくこととなりました。当院での勤務は6年ぶりですがシステムが以前と大きく変わっており、不慣れで皆様にご迷惑をかけることもあると思います。できるだけ早く円滑な業務が行えるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



脳血管内科  
医

たかぐち こう  
高口 剛

本年4月より脳血管内科で勤務させて頂いております。脳卒中を本格的に診療するのは初めてで、各科先生方・スタッフの方には多大な迷惑をお掛けすることがあると思いますが、温かい眼で見守って頂けたらと思っております。何卒よろしくお願い致します。



麻酔科  
レジデント

たなか ゆうき  
田中 友紀

平成24年4月より麻酔科で勤務させて頂いております。当院での勤務は初めてで、症例が多く、大変勉強になります。麻酔科医としてもまだまだ未熟ですので、診療科の先生方やスタッフの皆さまにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、少しでも貢献できるよう頑張りますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



内科医師  
レジデント

しらいし まみこ  
白石 麻美子

平成24年4月より血液内科レジデントとして勤務させて頂いております。平成21年度の当院初期臨床医として2年間お世話になりましたが、1年ぶりに当院に帰って参りました。各科の先生方やスタッフの方々に声をかけて頂くことも多く、有り難く感じております。血液内科医としてまだまだ未熟ですので御迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、当院の多岐にわたる血液疾患を担当し勉強させていただく所存です。御指導のほど宜しくお願い致します。



脳血管内科  
レジデント

ありみず たくろう  
有水 琢朗

平成24年4月より脳血管内科でレジデントとして勤務させて頂いております。当院での勤務は初めてであり、まだ3年目の駆け出しの医師であるため知識、技術とも未熟であり、色々な壁にぶつかりながら日々を過ごしています。各科の先生方、スタッフの皆様には御迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、私自身が早く成長して当院に貢献できるように精進してまいりますので、私の至らぬ点がございましたら遠慮無くお叱りいただければ幸いです。今後とも御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

## 電子カルテ導入のお知らせ

当院は平成24年7月1日より電子カルテを導入いたします。

電子カルテを導入することにより、

- ①医療情報の共有化を図り、連携をスムーズにすること
- ②連携室・予約センターを通じて、診察予約等をスムーズにできるように構築すること

を目指しております。

6月現在、操作研修やリハーサルを計画・実施し、スムーズにシステムが運用できるよう病院全体で取り組んでおりますが、導入当初は診療時間や待ち時間が長くなることが予想されます。

皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日午後6時から手術適用症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

**問い合わせ先** 鹿児島医療センター 地域医療連携室  
電話 099-223-1151 (内線 7344) FAX 0120-334-476

## 7月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

### 糖尿病看護入門編

- 日 時：平成24年7月27日(金) 18時30分～19時30分
- 場 所：大会議室
- 講 師：糖尿病療法指導士 赤尾 綾子

※ 参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに企画課(森永)までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246  
http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ 090(3327)5765

【地域医療連携室】 園田・今泉・永重・重吉・森・中島・吉留・酒井・櫻木  
直通電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476  
※休日・時間外は当直者で対応します。

